

慶野 常夫 議員(政友会)

質問方式  
一問一答

佐野市営バス  
「さーのって号」の  
運行について

Q 高齢社会、人口減少社会に突入した今、地域の生活交通の問題は佐野市にとっても重要な課題である。多くの人が移動をマイカーに依存する現代社会にあつて、今後マイカーを使えなくなる高齢者の移動手段として、佐野市営バス「さーのって号」の運行が必要となつてくると思うが、佐野市南部のバス路線がない吾妻地区、船津川地区の運行計画はあるのか伺いたい。

A 市民生活部長

さーのって号が運行していない吾妻地区や船津川地区は、公共交通空白地域として捉えていますので、その解消に努めていきたいと考えています。本年度策定を予定している地域公共交通網形成計画において、公共交通空白地域解消に向けた基本的な考え方を整理してまいります。

その他の質問

- ☆子どもたちを安心して育てる環境について
- ☆国道50号沿線開発構想について
- ☆住宅用火災警報器の設置率向上について



▲ さーのって号

木村 久雄 議員(公明党議員会)

質問方式  
一問一答

環境政策について

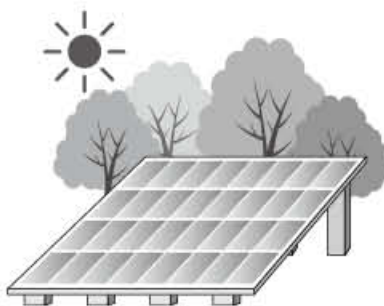
Q 佐野市でも2017年7月、林地開発による太陽光発電設備の整備箇所、土石流の災害があつた。足利市、栃木市では条例に基づく環境保全を求める手続きを定めており、他市も条例等の制定に積極的な姿勢を見せている。林地開発による太陽光発電設備の設置が多い本市も、防災安全対策、環境景観保全等の観点から、条例の制定を前向きに考えるべきだと思うがどうか。

A 市民生活部長

本市においても太陽光発電設備の設置による地域住民からの各種の懸念等について意見が寄せられている状況もあります。今後、国の制度変更の内容、他の自治体での条例の事例などを研究し、前向きに条例等の整備について進めていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆観光政策について
- ☆ヤマビル対策について
- ☆犬・猫の避妊・去勢手術について



鈴木 靖宏 議員(蒼生会)

質問方式  
一問一答

水害における  
防災・減災について

Q 東部6号の上流の地域、特に医師会通りからみのり幼稚園周辺は豪雨時に冠水し、雨水の排水問題が顕著である。根本的な解消を模索する必要があると考えるが、この雨水排水設備の未整備地区の今後の対応と計画について伺いたい。

A 都市建設部長

東部6号雨水幹線は、今後も引き続き下流側から整備を進めますが、その一方で上流の地域で道路冠水被害がたびたび発生していることは十分認識しています。この対策については、雨水幹線の整備だけでは不十分であり、そこに至るまでの排水ネットワークの整備が必要となります。現在、この地域の対策工事の協議を関係機関と進めており、冠水被害を軽減するため、一刻も早い対策工事の実施に向けて取り組みでまいります。

その他の質問

- ☆がん対策と支援について
- ☆火災における防災・減災について

